

『ひょうご孫ギフトプロジェクト』へご寄附いただいた皆さま

県産木材玩具『つみヒノキ』をこどもたちへ届けました！

平素から ふるさとひょうご寄附金事業（ふるさと納税）に格別のご理解ご協力を賜り心より感謝いたします。

『ひょうご孫ギフトプロジェクト』へのご寄附により、こどもたちへ県産木材玩具『つみヒノキ』を贈りました。

（※令和元年度～2年度末 県内の民間保育所、幼稚園、認定こども園 200カ所）

幼稚園、保育園等から、寄附者のみなさまへお礼のメッセージが届いておりますのでご紹介いたします。

兵庫県では今後も、より多くのこどもたちへの寄贈を目指してまいりますので、引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

兵庫県健康福祉部少子高齢局こども政策課

この度は、「ひょうご孫ギフトプロジェクト」で『つみヒノキ』を寄贈いただき、誠にありがとうございました。

箱を開けた瞬間、「新しい積み木や～!!」と興奮気味のこどもたち。中には、早速『つみヒノキ』を1本手に取り、「めっちゃいい香りするなあ。」「これ、お風呂にしたらいいにおいするってテレビで言っとった!」と、積み木の香りに気付き、喜ぶこどももいました。

そのあと、早速誰が一番高く積み上げられるか競争したり、ひとつひとつ違う木目を観察したり…それぞれが自由な発想でのびのびと遊んでいます。

今回いただいた『つみヒノキ』を、これからも大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



この度は県産木材玩具「つみヒノキ」を寄贈いただきありがとうございました。

ヒノキならではの香りがとても心地よく「良いにおい～!」とこどもたちも職員もあたたかい気持ちで手に取りました。

遊びの中では床に並べ模様を作ったり、他の積み木とも組み合わせで階段や家、どれだけ高く積み上げられるか、どう積みあげば安定して積み上げられるか…などなどこどもたちの工夫や思考する姿が見られました。積み上げたつみヒノキが崩れるとカランカラン♪と軽やかないい音が響き、それもまた楽しい様子でした。

今後も保育の中で大切に使用させていただきます。

素敵な贈り物ありがとうございました。

箱の中にピシッとすき間なく並んだ積木に、”わ～！！”と、目を輝かせた子供たちでした。

まずは、年長児から…と37名の5歳児のお部屋へ。新しいものに大勢で殺到してしまう事を避けるためあえて夕方の自由遊びの時間にそっと持っていき箱を開けてみました。すると近くにいた女の子5～6人が、なに？なに？と興味を示し第一声は「床みたい～！」とフローリングと重ねて見比べていました。そこからは“あうんの呼吸”でお家づくりが始まりました。同じ大きさ、形なので規則正しく縦・横に並べたり、柱や壁、屋根のように乗せて見たり…。相談しながら工夫して取り組んでいました。みんなでいつまでも大切にに使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。



こんな風に遊んでいます

ありがとう

ございました。

皆で仲良く大切に使います



ヒノキ木材玩具を寄贈していただきありがとうございます。

積木が入った箱を開けると、「え、これ何のにおい？」「何かにおいがする～」と興味津々の子どもたちでした。

普段からカプラなどの積木には触れている子どもたちですが、今回いただいたのはまた違う形で、「細いから難しい」、また「幅が広いから積みやすい」とそれぞれ感想を持っているようでした。“つみヒノキあそびかた”にある積み方に挑戦し、四角や丸など思い思いの積み方で見せ合いっこしながら楽しみました。最後はみんなでタワー作りに挑戦し、いただいた全ての積木を積むことができ、崩れないかドキドキしながら、どんどん高くなっていくタワーに期待が膨らんでいました。考えながら協力し、完成したタワーを見て、喜びと達成感でいっぱいの子もたちでした。

箱を開けた瞬間に、ヒノキのすがすがしい香りが部屋いっぱいに広がりました。なかなか嗅ぐことのできない香に、大人である職員も興味津々で手に取っていました。

さっそく子どもたちに与えたところ、積み重ねたり、たたき合わせて音を確認したり、香を嗅いだり、それぞれ思い思いに楽しんでいました。

頂くまではささくれが子どもの手に刺さったりしないかと勝手な心配をしていましたが、表面が驚くほどつるつるで、さすが建具職人の方が作られたものだと感心しました。また、木の表情が1本1本異なり、様々な方向から見比べている子もいました。

兵庫県にもこれだけ素晴らしい木材があることを確認でき、また子どもたちがそれに触れ、木のぬくもりを感じる事ができました。